

“ 今月 ”を理解する

# メディアレビュー

# MIX

特集でも取り上げたように、もはやインターネットは我々の生活になくてはならないインフラとなっている。では、そのインターネットが“ 住 ”に与える影響はどのようなものなのだろうか？ また、今の“ 住 ”に最適なインフラを選ぶにはどうすればいいのか？ 今回は7本のメディアからインターネットと“ 住 ”の関係について考えてみる。

## インターネットによって変わる住環境の今を読み解く

MEDIA REVIEW MIX

### FTTH時代の部屋のレイアウトは どのように変化するのが導き出す



Book NO. 1

『ワンスペース・リビング日本語版』

著者：シンシア・イニオンス

写真：アンドリュー・ウッド

訳者：鈴木宏子

発行：エディシオン・トレヴィル

発売：河出書房新社

家をワンスペースに改装し、広い空間を作って生活を楽しむ。そんなスタイルを実践しているケースを、イギリスやアメリカで取材、撮影。インテリアの実例集としても楽しめる。

かつて、どこの家でも電話線の差し込み口は玄関にあった。電話は縦に細長い電話台の上に置かれ、電話がなると皆が玄関に行き、立って話をしていたのだ。だがコードレスフォンの普及などによって、80年代半ばごろから電話線の差し込み口の位置はリビングへと移動していった。

あるいはかつて、居間の中央に鎮座していたテレビ。家族の個室が充実するとともに、小型テレビがそれぞれの部屋

に置かれるようになった。そして21世紀に入り、大画面テレビの登場とともにテレビは再びリビングルームへと復帰しつつある。

生活様式の変化と、それを支える製品やテクノロジーの進歩。そのときどきで住まいのスタイルはさまざまな変容を迫られていく。

ここに来て普及の足がかりができはじめたFTTHは、100Mbpsというその超高速ブロードバンドの実現によって、再び日本人の生活スタイルを一変させてしまう可能性

をはらんでいるといえるだろう。インターネットやデジタル放送に接続された大画面テレビが個室から再びリビングへと復活してきた中で、ではIP電話の端末やルーター、無線LANのアクセスポイント、そしてパソコンといった機器はどう配置すればいいのか。もしかすると、かつての黒電話のように機器類はすべてまとめて玄関口に押し込め、無線LANによって室内のデバイスはすべてロケーションフリーにしてしまうという時代もやってくるかもしれない。

「ワンスペース・リビング」は、イギリス人の著者シンシア・イニオンスと写真家アンドリュー・ウッドがまとめたハウスリフォームのさまざまな形を紹介したインテリアカタログブックだ。日本家屋のように、家を目的によって細かく仕切るのではなく、ワンスペース（一室空間）として使うという発想で、さまざまな具体例が美しい写真とともに紹介されている。

「家族や友人たちとのカジュアル化した関係、多様化したライフスタイル、多機能化が求められる住環境」ワンスペース・リビングという住み方には、状況の変化に合わせて住まいを自由に構成できる良さがある（本書、はじめにより）というそのコンセプトは、FTTH時代の居室空間を考える中で、多くの示唆を与えてくれるだろう。



## Institution NO.2

『パナソニックセンター』  
 住所：東京都江東区有明 2-5-18  
 休館日：毎週月曜と年末年始  
 開館時間：午前10時～午後6時  
 入場無料  
 電話：03-3599-2500

松下グループの総合情報発信拠点として開設された施設。『ユビキタスネットワーク社会の実現』と「地球環境との共存」を2大テーマに、次の未来の「夢」と「快適」を創るために、皆様とコラボレーションする場でありたい」という。

URL <http://www.panasonic-center.com/>

## 2005～2010年の住環境をいち早く体験してみる

松下電器産業が2002年9月、東京・有明にオープンした「パナソニックセンター」は、ブロードバンドが生活の隅々にまで入り込んだ近未来の住まいのあり方をかいま見せてくれる。地上4階地下1階、延べ床面積1万5788平方メートルという広いフロアに展示されている“未来”の方向性はかなり多岐にわたるが、たとえば「ビジネスプレゼンテーションショーケース」というコーナーの中にある「eテーブル」というディスプレイを取り上げてみよう。ディスプレイの最初の画面は魚の泳ぐ画面。魚のひとつひとつが情報のフォルダとなっており、席に着くと、ユーザー個人に特化した情報ファイル「魚」が集まってくる仕組みになっている。また希望する情報をディスプレイに伝えと、クラゲ状のエージェントが水の中を泳いで探してきてくれる。このeテー

ルのコンテンツは、家庭用サーバーを経由してインターネットとつながっており、非コンピュータ的なインターフェイスを使ってシームレスにネットの海に泳ぎ出ることができるというわけだ。

また、一般客向けの「暮らし・環境ショーケース」では、冷蔵庫やエアコンなどすでに実用化されつつあるインターネット家電をさらに進化させ、ネットの検索エンジンや外部の企業サーバーと連動させたシステムなどを見ることができる。ユビキタスなネットワークが生活に入り込んできたとき、どのような住まいの風景が出現するのか。そんな未来像をこの目で確かめる場所としては、かなり興味深い施設だ。このパナソニックセンターで提案されている暮らしは、2005年から2010年ごろに実現することを想定しているという。

## MEDIA REVIEW MIX

## ウェブカメラで互いの住環境を見せ合う「ひかり荘」

通信業界におけるNTTの対抗軸として語られている“電力系”。電力網に沿って国内津々浦々に張り巡らされている光ファイバーが、その存在感を裏打ちするパワーとなっている。昨年3月には、東京電力が「TEPCOひかり」の名前で家庭向けのFTTHサービスを開始しているが、その東京電力は昨年秋から、吉本興業と組んで「キャスト」という名前のきわめて興味深いブロードバンドコンテンツを提供し始めた。

なかでも注目されているのは、「ひかり荘」という不思議な番組。都内某所に実在する一軒家を舞台にし、各部屋にウェブカメラを設置。光ファイバー経由で動画を転送。住人たちが生活し、おしゃべりしている様子をリアルタイムで見ることができる。視聴者の側からは、掲示板を使って住人たちとコミュニケーションを取ることも可能。さらには視聴者側にもウェブカメラを設置

してほかの視聴者に見せることまでできて、FTTHの双方向性を存分に生かしたコンテンツとなっている。かつて番組「進め!電波少年(日本テレビ系列)で人気を博した「なすびの電波少年的懸賞生活」のインタラクティブ版ともいえる内容だ。サイト全体のページビューは何と1

日200万にまで達しているという。吉本興業の底力を思い知らされるような勢いだ。

現在は無料で、ADSLやCATVなどFTTH以外からでも視聴することができる。将来的にはFTTHの特質である速度や双方向性をさらに高めていく可能性を視野に入れながら、コンテンツの方向性を探っていくという。“住”のスタイルを見せ合うことで楽しむこのコンテンツは、何か新しい暮らし方を人間に与えてくれるような気がしなくもない。



## Streaming NO.3

『ひかり荘』  
 高校生から持ち主婦、作家、花屋、占い師といった多彩な“住人”たちが、アクセスした視聴者たちに語りかけ、話につきあってくれるというコンテンツ。吉本興業が東京電力と共同企画した。

URL <http://casty.jp/>

## 申し込み可能プロバイダー、キャリアを 即時検索、そのまま申し込み

ADSL、FTTHなどブロードバンドに特化した情報サイト「RBB-TODAY」は、インターネット総研 (IRI) の関連会社であるアイ・アール・アイ・コム・アンド・テクノロジーが運営している。もともととは有限会社ポイントファイブコミュニケーションズが運営していた独立系のニュースサイトで、ブロードバンドの貴重な情報ソースとして定評があった。2000年12月にIRIが営業権を取得してからは、PCソフト販売を手掛けるなどのさまざまな展開を見せいている。

とはいえ、やはりコンテンツのメインはブロードバンドにまつわる各種のニュース。業界事情にまで踏み込んだコラム群や、一次ソースを重視した記事への評価は高い。それに加えて人気を集めているのは、自分の住んでいる場所の郵便番号を入力するだけで対応プロバイダーの検

索を行い、さらには検索結果の業者を比較することができる無料のサービスだ。しかもその検索結果から申し込み画面に進むこともできる。ほかにもブロードバンドに特化したコンテンツやサイトを紹介する「RBBナビ」、ブロードバンド用語を網羅した「ブロードバンド辞典」、自分の回線のスピードはどれくらい出ているかわかるブロードバンドの通信測定サイト「speed.rbbtoday.com」など、ブロードバンド総合ポータルとしてありとあらゆるコンテンツサービスが並べられている様子は壮観でさえある。

これらコンテンツは、引っ越しなどに伴いブロードバンドを乗り換える際に、自分の住環境に最適なキャリア、プロバイダーはどこなのかを知るのにおおいに助けになってくれるだろう。



News NO.4

『RBB-TODAY』ウェブ上のブロードバンドの情報源はいくつかあるが、その中でも「RBB-TODAY」は情報の濃さや関連サービスの充実度では群を抜いている。

URL <http://www.rbbtoday.com/>

### MEDIA REVIEW MIX



Bulletin board NO.5

『FTTX information』プロバン太郎氏が管理人を務めるFTTH関連の総合情報サイト。FTTHなら一戸建てだろうがマンションだろうがすべて網羅されている。このサイトだけでFTTHの情報は、ほぼすべて手に入るといってもいい。

URL <http://www.fttx.jp/>

## FTTH関連の口コミ情報をもとに 最適な事業者を選べる

現在、最高速のアクセス回線であるFTTH。せっかくの高速回線だし、利用料金、初期費用もADSLなどに比べて高額なのだから、導入の際はじっくりと情報を集めて検討したい。

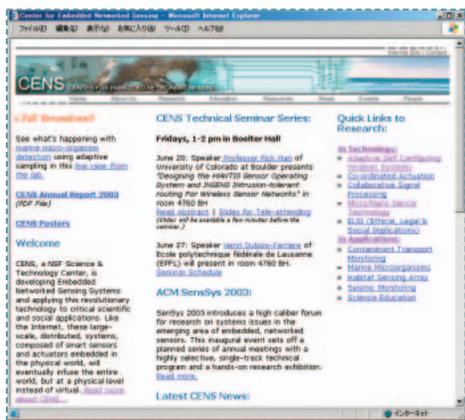
そんなとき役に立つのがFTTX informationだ。このサイトは、FTTH関連の記事をBroadBand Watchなどに寄稿しているプロバン太郎氏が管理人を務めているだけあって、FTTHに関する内容が広く深いものになっている。

たとえば一戸建て向けFTTHに関しては、全国の主要な事業者の詳細な情報を掲載。コースごとの料金はもちろんのこと、固定IPが何個もらえるのかといった情報まで一目でわかるようになっている。また、マ

ンションタイプのFTTHの情報も、イーサネット配線にした場合の各事業者の料金比較表など、貴重な資料を掲載してカバーしている。

そのほか、実際にFTTHを導入した人の体験記サイトへのリンクが、各事業者ごとに分類されて掲載されているのもうれしい。ここからFTTH導入のレポートを読み、自分の家の構造で本当に光ファイバーを引けるのかなどを検討して、自分に最適なFTTHを見つけるといいだろう。

これらの情報以上に、このサイトで使える項目は、各FTTH事業者ごとに分かれた情報交換のページだ。ここでは実際にサービスを導入してみなければわからないような項目を、FTTHユーザーなどが続々と出している。カタログだけでは、どのFTTHがいいのかわからない。そんな人は一度、目を通しておくべきサイトだ。



## Research Center NO.6

### 『Center for Embedded Networked Sensing』

カルフォルニア大学ロサンゼルス校 UCLA に設けられた、小型無線デバイス応用技術の研究所。土壌に超小型無線デバイスを流し込み、その汚染度を調査するなどの技術や方法を研究している。所長は UCLA Computer Science Department の教授、デボラ・エストリン氏。

URL <http://cens.ucla.edu/>

## 自己修復する「スマート」な「家」が 小型無線チップで完成する

IDなどが記録された小型の無線タグを商品に埋め込み、その流通を管理する「オートIDセンター」が国内で稼働。日立製作所が128ビットの数字列をワイアレス送信できる超小型ICチップ「ミューチップ」を開発。ユーロ紙幣に小型無線タグが埋め込まれる予定などなど、RFID(無線認識)タグと呼ばれる砂粒大の無線チップが注目を集めている。ここで紹介する Center for Embedded Networked Sensing も小型無線チップを応用して、さまざまな研究を進めようとしている機関の1つだ。

この研究所では、たとえば小型の無線チップを探知機として土壌に埋め込み、汚染物質の流れを検出する研究や、ジェームズ自然保護区の地勢調査を、無線チップ搭載のロボットで行うなどの研究を進めてい

るのだが、なかでも特筆すべきは、コンクリートの中に無線チップを流し込み、自分で自分の状態を検知し、さらにワイアレスでその状態を報告するような建材の研究だ。

もしこのような建材が完成したら、我々の住環境はどうなるのだろうか？ たとえば、ドアノブが壊れた自分を検知し、誰かがドアを破ったと判断する。そしてワイアレスでネットワークにつながり、住人に泥棒侵入の可能性を報告……。まるで、夢物語のようなのだが、この研究所では実際にそのような「スマートな素材」の研究が進んでおり、今後無線チップの検知能力、演算能力、通信能力がアップすれば不可能ではないともレポートされている。将来、家の建材がインテリジェンスを備えて「そろそろ網戸、変え時ですよ」とレポートしてくれるかもしれない。

## MEDIA REVIEW MIX

## リアルな部屋にブロードバンドを引いたら 仮想の部屋をカスタマイズせよ

フィンランド生まれの人気アバター(分身)チャットサービス「HABBOホテル」。現在、全世界で400万人を超える会員を集める巨大サービスになっており、日本ではイマヒマ株式会社が正式にサービスを提供している。

このチャットサービスが人気を集めているポイントは「言葉フィルター」という機能があるところだ。たとえば「××」などの、人に不快感を与えやすい言葉や、暴力、犯罪などを誘発しかねない言葉などが禁止用語になっており、これらの言葉を発すると自動的に「ホバ」という言葉に変換されてしまう。これはチャットによるトラブルなどを事前に防ぐために施された工夫だ。

そのほか、管理人がホテル内を常時監視し、何か問題が起こった際はすぐに駆けつけろという機能も提供しており、チャットサービスでたまに見かける殺伐とした

雰囲気はなく、誰でも気軽に参加できるようになっている。

なぜ、ここでチャットサービスを出してきたかというと、この「HABBOホテル」の最大の特徴は仮想空間に必ず1つ部屋が持てることだから。部屋の形や色は自分で好きなように選べるほか、「HABBOホテル」内での通貨「HABBOポイント」を使って、家具や家電製品などを購入、自分の部屋を好きなようにレイアウトできるのだ。部屋をオープンにすることで、友達を呼ぶことも可能だ。

もし、自分の家を常時接続環境にしたならば、次は仮想空間に自分の部屋を持つてカスタマイズし、友達を呼んで楽しむというのもおもしろいだろう。



## Chat NO.7

『HABBOホテル』  
全世界400万人を超える会員を集めているアバター(分身)チャットサービス。今年2月から日本語版が、月額300円で正式にスタートしている。

URL <http://www.habbohotel.jp/>



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)